

2019年5月8日

関係各位

岡山大学惑星物質研究所長
薛 献宇（公印省略）

テニユア・トラック助教の公募について（依頼）

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、岡山大学惑星物質研究所では、下記の要領で教員を公募することとなりました。つきましては、関係者各位へ周知いただくとともに、適任者の推薦及び応募についてよろしくお取り計らい願います。

記

岡山大学惑星物質研究所は、地球を含む惑星の起源・進化とダイナミクスの統一的理解を目指して、実験的および分析化学的アプローチによる地球惑星物質科学研究を推進すると同時に、本研究所の先進的実験・分析研究基盤を国内外の研究者・学生に提供し、積極的に共同利用研究を展開することをミッションとしています。また、岡山大学大学院自然科学研究科・地球惑星物質科学専攻として一貫制博士課程大学院教育も行なっています。

本研究所は、2016年4月、前身の「地球物質科学研究センター」から、惑星物質基礎科学部門、惑星システム科学部門、生命・流体物質科学部門の3部門からなる「惑星物質研究所」に改組されました。今回テニユア・トラック助教を募集している惑星物質基礎科学部門においては、マルチアンビル装置をはじめとする多様な高温高压発生装置における温度圧力発生や物性測定に関する高度な技術開発、ならびにこれらを用いた地球惑星深部物質の構造物性に関する先端研究が活発に展開されています。

本研究所の所属研究者情報や、実験・分析機器等の詳細については、ホームページ (<http://www.misasa.okayama-u.ac.jp>) をご参照ください。

本公募は、本研究所が目指す地球惑星物質の総理解に必要な真空から超高压に至る圧力範囲を網羅する実験地球惑星物質科学に貢献できる、いずれかの実験的手法による地球惑星物質研究を推進できる人材を広く求めます。応募者には、関連分野における優れた研究実績を有し、高度な実験技術開発を行う能力と意欲を持ち、本研究所において主体的に新たな研究分野を開拓すると同時に、他の教員・スタッフと連携し、積極的に惑星物質科学研究を推進できる方を求めます。

1. 所属：惑星物質基礎科学部門
2. 職名・人員：テニユア・トラック助教1名
3. 任期：着任時から5年

テニユア・トラック期間満了日の6ヶ月前までに行う審査の結果、別紙テニユア審査基準を満たしている場合は、テニユア・トラック期間満了日の翌日から任期の定めのない教員

として採用します。

4. 着任時期：決定後出来るだけ早い時期
5. 応募資格：博士の学位を有する方。講義と研究の指導が英語でできること。国籍は問いません。
6. 教育担当：採択者は岡山大学大学院自然科学研究科地球惑星物質科学専攻（一貫制博士課程）の授業科目を担当します。また、同専攻の大学院生を共同指導することもできます。
7. 提出書類：【英語で作成すること。提出書類は返却しません。】
 - ① 履歴書（様式1）
 - ② 研究業績（原著論文（査読の有無を区別）、総説、著書、外部獲得資金獲得履歴、その他に分けること）。共著の場合は自らの貢献した部分を明示すること。
 - ③ 主要論文5編の別刷又はPDF ファイル
 - ④ これまでの研究の概要
 - ⑤ 研究・教育についての計画・抱負
 - ⑥ 応募者について所見を求められる方2名の氏名および連絡先
8. 応募締切：審査は2019年7月8日に開始され、決定するまで応募を受け付けます。
9. 問い合わせ及び書類送付先：

〒682-0193 鳥取県東伯郡三朝町山田 827
岡山大学惑星物質研究所 教授・芳野極（選考委員会委員長）
電話 0858-43-1215（代表）
電子メール wakusei-jinji@adm.okayama-u.ac.jp
電子メールにて応募する場合は、メール件名に「惑星物質基礎科学部門教員応募」と記入してください。郵送の場合は、「惑星物質基礎科学部門教員応募書類在中」と朱書きの上、書留で送付してください。
10. 選考方法：惑星物質科学基礎研究部門教員選考委員会（人事委員会）で書類審査を行い、書類選考の後、英語でのセミナー発表および人事委員会による面接を実施します。選考後、教授会での承認を受けた後、テニユア・トラック助教の候補者として学長に推挙されます。
11. 給与：給与は年俸制が適用されます。その詳細は、以下をご覧ください。

http://www.okayama-u.ac.jp/up_load_files/soumu-pdf/shokisoku/40H26kisoku17.pdf

付記：岡山大学では、男女共同参画を推進し、女性教員をサポートしています。女性の積極的な応募を歓迎します。

別紙

テニユア審査基準

テニユア審査基準を以下のとおり定める。

以下の研究，教育，管理運営と社会活動の3項目について，原則として全ての条件を満たし，かつ，研究において顕著と認められる業績・実績を有すること。ただし，条件を満たさない項目があっても，その他特筆すべき事項がある場合には，審査において考慮する。

1 研究活動

著書，論文，学会活動，共同利用・共同研究の受け入れ実績，受賞・各種研究費の獲得などの観点で評価する。

- ・研究所教員として地球惑星分野に関連する研究を，将来発展させうること。
- ・テニユア・トラック教員期間中の査読付論文（共著も含む）は平均年1編以上であり，査読付の筆頭著者原著論文（研究内容は，テニユア・トラック教員期間の研究が中心なものとし，掲載決定済みのもも含める。）は最終評価までに3編以上あること。
- ・テニユア・トラック教員期間中の学会等における発表が平均年1回以上あること。国際学会で積極的に発表していること。
- ・テニユア・トラック教員期間中に研究代表者として外部資金（科学研究費補助金，財団等の研究助成金等）の獲得が1件以上あること。なお，科学研究費補助金については，継続課題がある場合を除き，毎年度申請していること。
- ・テニユア・トラック教員期間中に共同利用研究機器の管理を担い，共同利用・共同研究を積極的に受け入れていること。

2 教育活動

講義や実験・実習の担当（補助を含む），学生指導上の実績及び教員としての資質等を評価する。

- ・テニユア・トラック教員期間中に一貫制博士課程の講義を担当し，かつ，所属講座の学生の研究指導，学術論文・学位論文執筆に適切な助言指導を行っていること。
- ・テニユア審査時に一貫制博士課程学生の指導教員としての指導能力を有すること。

3 管理運営と社会活動

管理運営上での貢献（全学，研究科，研究所全体，所属部門・講座），社会貢献（国際貢献，公開講座など）の観点から評価する。

- ・研究所等の業務，委員会等，国際連携，広報，アウトリーチ活動等に積極的に参画し，研究所の発展に貢献していること。

(職歴)・・・職名，地位又は職務内容も記入し，非常勤の場合は，その旨を記入するとともに，1週間の勤務時間数を付記すること。

期 間	事 項
自 . . 至 . .	
自 . . 至 . .	
自 . . 至 . .	
自 . . 至 . .	
自 . . 至 . .	
自 . . 至 . .	

(学位・資格・免許)・・・採用後の職務に関連のあるもののみとし，学位については，学士以上を記入すること。

取 得 年 月 日	事 項
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	

(学会及び社会活動)

年 月 日	事 項
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	

(賞罰)

年 月 日	事 項
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	